

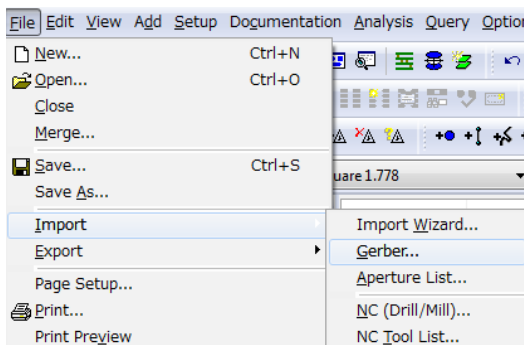
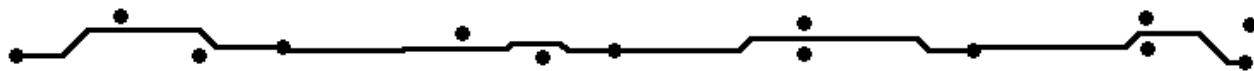
GerbTool VisualCAM

ガーバーデータへネットリスト IPC-D-356A 割当て

GerbTool VisualCAM はガーバーデータのチェックの他、ガーバーデータから生成されるネットリストと外部よりネットリストをインポートし比較・確認が行える他、インポートしたネットリスト名をガーバーデータへ適用が行えます。ここでは簡単な両面基板のデータを使用し、IPC-D-356A のネットリストをインポートしネット名を適用します。

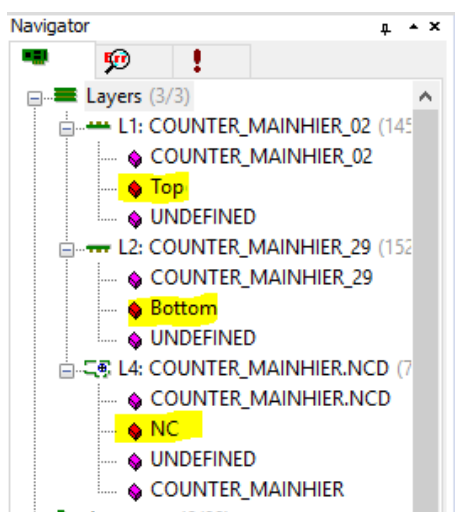
手順	内容
1	インポートガーバーデータ・ドリルデータ
2	レイヤータイプ割当て
3	ガーバーデータ・ドリルデータからネットリストを生成
4	ネットリスト IPC-D-356A インポート
5	ネットリスト比較とネット名の適用

1 インポートガーバーデータ・ドリルデータ



メニューFile から
ガーバーデータ・ドリルデータをインポートします。

2 レイヤータイプ割当て



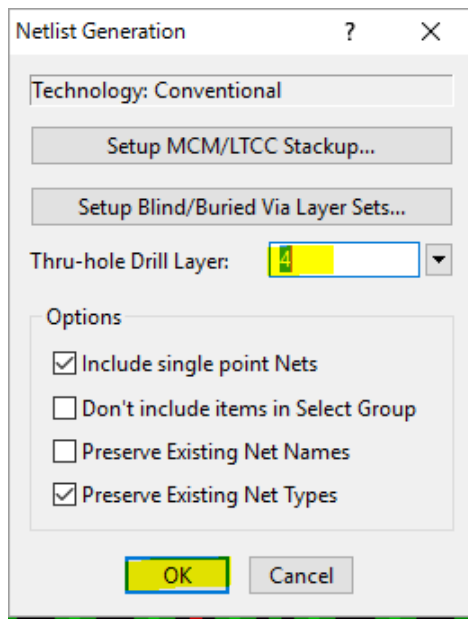
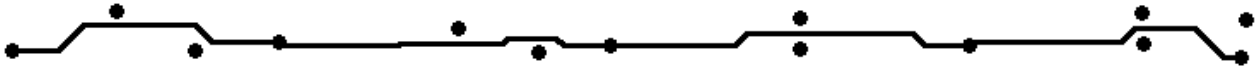
Navigator を使ってインポートした各レイヤーに適切なレイヤータイプを割当てます。

この例では
部品面ガーバーデータ : Top
半田面ガーバーデータ : Bottom
ドリルデータ : NC
内層レイヤー : Inner
ベタパターン (ネガ) : Plane Neg
ベタパターン (ポジ) : Plane Pos

3 ネットリストの生成

インポートしたガーバーデータからネットリストを生成します。

IPC-D-356A ネットリスト割当て

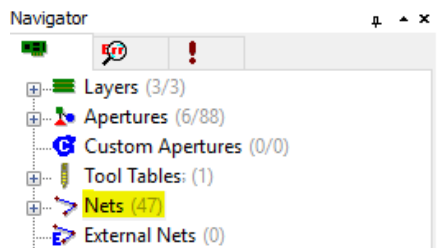


メニューから Tools/Netlist/Generate を開きます。

Thru-holeDrill Layer : ドリルレイヤーを選択します。
(この例の場合は 4)

ブラインドビア・ベリドビアがある場合は、
『Setup Blind/Buried Via Layer Sets』 をクリックし
レイヤーセットを登録します。

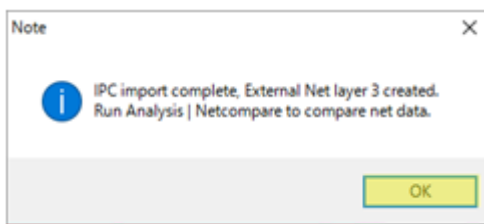
『OK』 ボタンをクリックします。



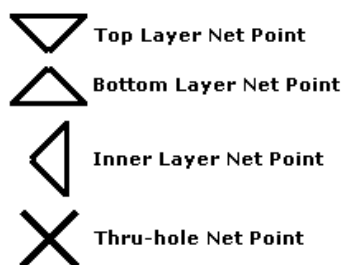
ネットリストが生成されます。

Navigator ツリー表示に生成されたネットの数が表示
されます。

4 ネットリスト IPC-D-356A のインポート



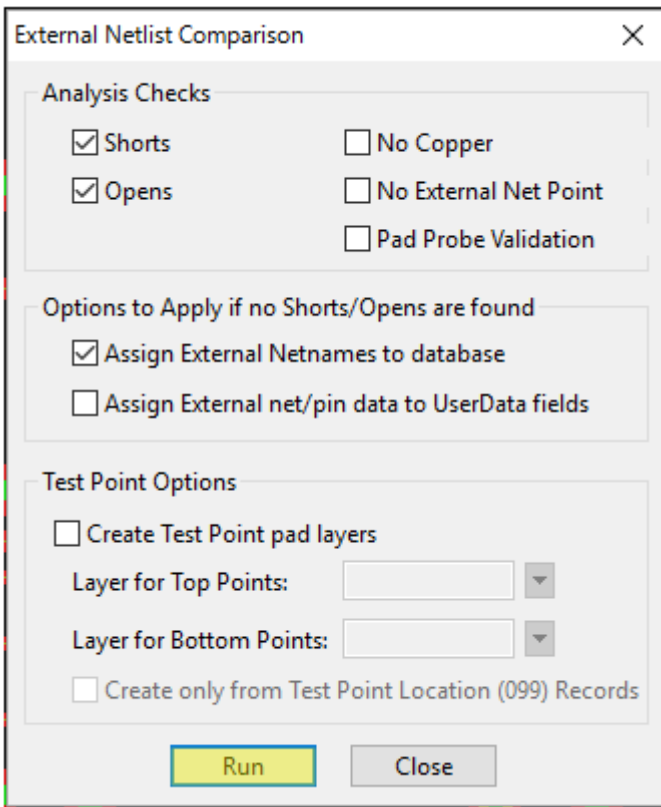
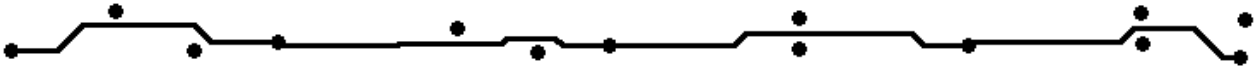
メニューFile/Import/Netlist/IPC-D-356 を選択、
IPC-D-356 ファイルを選択し、インポートします。
インポートが終了すると External ネットレイヤーが
作成されたとメッセージが表示されます。
『OK』 をクリック



インポートされた Extrenal ネットリストを示すグラ
フィカルレイヤが作成されます。

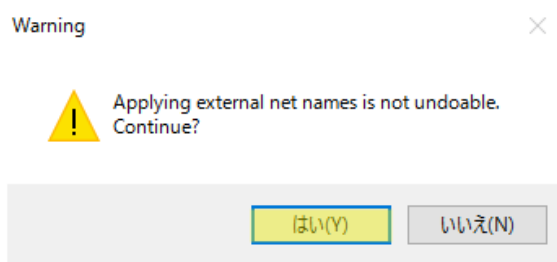
このレイヤーにはネットポイントの位置を表す、
4つのマークが使用されています。

5 ネットリストの比較とネット名の適用



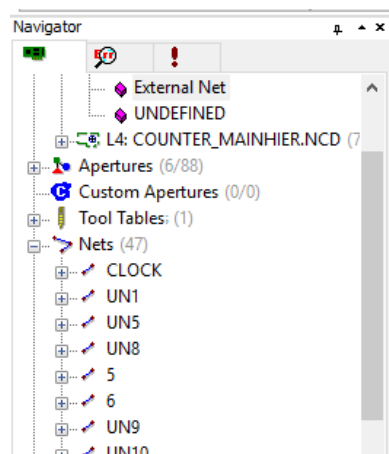
メニューから Analysis/NetList Compare を開きます。

『Run』 をクリックします。



エラーが発見されない場合は IPC-D-356A の ネット名を使用するかどうかメッセージが表示されます。

『はい』 を選択します。



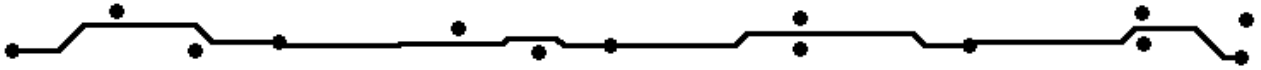
Navigator のネットハブに IPC-D-356A ネット名が表示されます。

ネットリストの比較が行われた場合は外部からインポートしたネットリストのネット名をいつでも適用ができます。

適用する場合は、メニューから Tools/Netlist/Apply External Net Names を選択します。

この場合、アンドゥができませんのでご注意ください。

IPC-D-356A ネットリスト割当て



上記にて外部からインポートしたネットリスト名を適用した場合は、Query/Net コマンドを使用する場合において適用したネット名で使用が可能です。

